

2023年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月15日

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4355 URL <https://www.longlife-holding.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 ひろみ
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大麻 良太 TEL 06-6373-9191
 四半期報告書提出予定日 2023年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	3,149	0.0	22	—	5	—	△25	—
2022年10月期第1四半期	3,148	2.8	△9	—	△24	—	△67	—

（注）包括利益 2023年10月期第1四半期 △31百万円（－％） 2022年10月期第1四半期 △62百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	△2.45	—
2022年10月期第1四半期	△6.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第1四半期	15,338	66	0.4	6.40
2022年10月期	15,927	97	0.6	9.40

（参考）自己資本 2023年10月期第1四半期 66百万円 2022年10月期 97百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.2	200	963.0	100	—	50	—	4.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期 1 Q	11,190,400 株	2022年10月期	11,190,400 株
② 期末自己株式数	2023年10月期 1 Q	859,105 株	2022年10月期	859,105 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期 1 Q	10,331,295 株	2022年10月期 1 Q	10,331,295 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国旅行支援の実施等が個人消費を押し上げたものの、新型コロナウイルスの「第8波」により回復は小幅にとどまりました。また、ウクライナ情勢の長期化や大幅な円安を要因に光熱費・消費者物価が高騰するなど業務コストが増大し、先行き厳しい経営環境となっております。

介護業界におきましては、引き続き高齢者であるお客様の感染拡大防止を優先課題とすると同時に、有資格者の確保など介護人材の適時適切な採用・定着が大きな課題となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、より良い人材の確保及び定着に向け処遇改善を行うとともに、人員配置の適正化や業務フローの見直し等による業務効率化を進めてまいりました。また、「CSV（共有価値の創造）」を事業活動の根本に据え、その一環として国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への取り組みに注力しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、コロナ第8波の影響はあったものの、売上高は31億49百万円（前年同期比0.0%増）と横ばいに推移し、経費削減策の効果等により、経常利益は5百万円（前年同期は24百万円の経常損失）と黒字回復となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は法人税等の負担により25百万円の損失（前年同期は67百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2022年9月1日付のロングライフメディカル株式会社からエルケア株式会社への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、従来まで「その他」の区分としていた医療関連事業を「在宅介護事業」の区分に変更しております。また、従来まで独立していた「フード事業」はセグメント区分の見直しにより、当第1四半期連結累計期間から「その他」の区分に変更しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、有料老人ホーム及びグループホームを運営しており、当第1四半期連結会計期間末におけるホーム数は23ホームで居室総数は1,041室となっております。引き続きホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の向上に努めております。

ホーム介護事業の売上高は12億62百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は47百万円（前年同期比797.2%増）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、訪問入浴、訪問介護、訪問看護、訪問歯科、通所介護（デイサービス）、小規模多機能型居宅介護、障がい者用グループホーム及び就労継続支援施設等の介護サービスを運営しており、当第1四半期連結会計期間末におけるサービス数は138サービスとなっております。引き続き各事業所職員の育成充実と訪問介護における特定事業所加算が適用される事業所を増加させ、サービスの質の向上を図り、事業拠点の収益力アップに努めております。

在宅介護事業の売上高は15億92百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益は30百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

③リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っており、また、プライダル事業者及び宿泊集客支援事業者との提携を行い、サービスの向上と新規会員の獲得に努めております。

リゾート事業の売上高は64百万円（前年同期比7.6%減）、経常損失は63百万円（前年同期は55百万円の経常損失）となりました。

④その他

その他につきましては、フード事業を行う連結子会社の「ロングライフダイニング株式会社」、調剤薬局事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフグローバルコンサルタント株式会社」及び「朗楽(青島) 頤養運営管理有限公司」の4社並びに持分法適用会社の「山東新華錦長生養老運営有限公司」により構成されております。

その他セグメントの売上高は2億29百万円（前年同期比2.1%増）、経常損失は8百万円（前年同期は8百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億88百万円減少し、153億38百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より4億16百万円減少し、27億9百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が3億34百万円、売掛金が53百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より1億71百万円減少し、126億28百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が1億30百万円減少したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より3億4百万円減少し、84億62百万円となりました。その主な内訳は、契約負債が1億45百万円、賞与引当金が64百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より2億52百万円減少し、68億10百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が2億57百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、66百万円となり、自己資本比率は0.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期通期の連結業績予想につきましては、2022年12月14日付決算短信にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,849	989,362
売掛金	664,844	611,842
棚卸資産	63,739	63,047
預け金	740,696	740,717
その他	337,083	308,290
貸倒引当金	△3,281	△3,281
流動資産合計	3,126,931	2,709,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,048,417	12,055,533
減価償却累計額	△4,326,853	△4,441,092
建物及び構築物(純額)	7,721,564	7,614,440
車両運搬具	12,228	12,228
減価償却累計額	△10,676	△11,009
車両運搬具(純額)	1,551	1,219
工具、器具及び備品	850,238	789,263
減価償却累計額	△677,346	△628,196
工具、器具及び備品(純額)	172,891	161,067
土地	3,656,473	3,656,473
リース資産	280,000	280,000
減価償却累計額	△105,021	△116,286
リース資産(純額)	174,979	163,714
有形固定資産合計	11,727,460	11,596,915
無形固定資産		
のれん	7,740	5,954
その他	44,344	42,498
無形固定資産合計	52,085	48,452
投資その他の資産		
投資有価証券	25,126	28,773
関係会社株式	5,000	5,000
差入保証金	646,893	647,222
長期前払費用	26,340	22,691
繰延税金資産	112,472	94,549
その他	205,022	185,288
投資その他の資産合計	1,020,856	983,525
固定資産合計	12,800,401	12,628,893
資産合計	15,927,333	15,338,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,973	98,168
1年内返済予定の長期借入金	1,091,492	1,091,492
リース債務	49,392	49,392
未払金	315,532	278,926
未払費用	662,429	647,508
未払法人税等	51,828	7,790
契約負債	6,298,074	6,152,140
賞与引当金	112,376	48,347
その他	96,005	88,623
流動負債合計	8,767,105	8,462,388
固定負債		
長期借入金	6,649,447	6,391,574
リース債務	143,615	130,871
繰延税金負債	666	9,925
退職給付に係る負債	157,848	167,035
資産除去債務	105,082	105,410
その他	6,465	5,588
固定負債合計	7,063,126	6,810,405
負債合計	15,830,231	15,272,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	9,736	9,736
利益剰余金	210,159	184,830
自己株式	△229,385	△229,385
株主資本合計	90,510	65,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	816	3,080
為替換算調整勘定	5,774	△2,184
その他の包括利益累計額合計	6,591	895
純資産合計	97,101	66,077
負債純資産合計	15,927,333	15,338,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
売上高	3,148,606	3,149,463
売上原価	2,460,101	2,451,106
売上総利益	688,505	698,356
販売費及び一般管理費	697,804	675,694
営業利益又は営業損失(△)	△9,299	22,661
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	16	348
寄付金収入	5,000	—
助成金収入	2,039	6,849
受取保険金	482	2,537
その他	3,884	1,667
営業外収益合計	11,425	11,406
営業外費用		
支払利息	25,355	22,647
支払手数料	1,735	3,416
持分法による投資損失	—	800
その他	7	2,043
営業外費用合計	27,098	28,908
経常利益又は経常損失(△)	△24,972	5,160
特別損失		
和解金	13,097	—
特別損失合計	13,097	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,070	5,160
法人税、住民税及び事業税	12,099	4,503
法人税等調整額	17,736	25,985
法人税等合計	29,835	30,488
四半期純損失(△)	△67,906	△25,328
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,906	△25,328

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
四半期純損失(△)	△67,906	△25,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△765	2,264
為替換算調整勘定	6,194	995
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△8,954
その他の包括利益合計	5,428	△5,695
四半期包括利益	△62,477	△31,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,477	△31,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、この適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)の仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホーム介護	在宅介護	リゾート	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,294,077	1,559,587	70,143	2,923,808	224,797	3,148,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,222	7,031	8,253	157,709	165,963
計	1,294,077	1,560,809	77,175	2,932,062	382,507	3,314,569
セグメント利益又 は損失(△)	5,308	20,786	△55,335	△29,239	△8,772	△38,011

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フード事業、調剤薬局事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△29,239
「その他」の区分の損益	△8,772
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	13,269
その他(注2)	△266
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△24,972

(注1) 全社損益は当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホーム介護	在宅介護	リゾート	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,262,139	1,592,937	64,818	2,919,895	229,568	3,149,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	1,726	12,076	13,902	165,427	179,330
計	1,262,238	1,594,663	76,895	2,933,797	394,995	3,328,793
セグメント利益又は 損失(△)	47,631	30,550	△63,563	14,619	△8,188	6,431

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フード事業、調剤薬局事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	14,619
「その他」の区分の損益	△8,188
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	△1,447
その他(注2)	140
四半期連結損益計算書の経常利益	5,160

(注1) 全社損益は当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2022年9月1日付のロングライフメディカル株式会社からエルケア株式会社への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、従来まで「その他」の区分としていた医療関連事業を「在宅介護事業」の区分に変更しております。また、従来まで独立していた「フード事業」はセグメント区分の見直しにより、当第1四半期連結累計期間から「その他」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。